

策定の目的

デジタル技術を活用したサービスの向上、組織運営の効率化、地域課題の解決を行うスマートシティの実現に向けて、行政や市民、事業者等が一体となって目指す姿を示すため。

将来像

- ミッション(使命)
- ビジョン(将来像)

デジタル技術を活用し、地域課題の解決を進めることで、「つながりが誇りと安らぎを育む 魅力創造都市 伊勢」の実現を図る
人と人がデジタルでつながる ~People Connected by Digital~
スマートシティ伊勢

基本理念・基本原則

全体の方向性

- デジタル技術を活用した市民生活の質の向上
- デジタル技術を活用したサービスの向上、組織運営の効率化
- デジタル技術を活用し地域課題の解決

スマートシティ伊勢を実現する上での3つの基本理念

- 理念① 市民起点**
市民(利用者)中心主義
- 理念② 共創による**
新しい価値の創出
- 理念③ 素早く**
実践・検証・改善

スマートシティ伊勢の基本5原則

- 原則①**
様々なサービスや組織が相互に連携
- 原則②**
多様性と包摂性
- 原則③**
安全・安心の確保
- 原則④**
透明性確保
- 原則⑤**
運営面、資金面での持続可能性の確保

3つの基本理念に基づき、5つの基本原則を遵守しながら、「スマートシティ伊勢」の実現に向けて、取り組めます。

構想の位置付け

第3次伊勢市総合計画の基本構想に掲げる、まちの将来像「つながりが誇りと安らぎを育む 魅力創造都市 伊勢」を実現するため、行政や市民、事業者などが一体となって分野横断課題の一つである「デジタル技術の活用」を進め、スマートシティ伊勢を実現していくための指針として位置付けます。

構想の期間

期間は、当初は令和6年度から令和9年度までの4年間としますが、総合計画の策定等を踏まえ、見直すことも検討します。

目指す姿及び方向性

目指す姿

- 市民が快適で便利に生活できるまち
- 安全安心に暮らせるまち
- 誰もが生き生きと活躍できるまち
- 産業活動が活発で活力と賑わいにあふれるまち
- 利用者目線で行政サービスが提供されているまち

方向性

- まちのお店が利用しやすい
- 車がなくても、充実した生活ができる
- 伝統や古いまちなみを残しながらも、新しい技術の活用がされている
など
- 様々な情報や取組を簡単に知ることができている
- デジタルへの不安や苦手意識をなくせている
- 気軽に相談し、サポートが受けられる
など
- ワークライフバランスを取りながら働いている
- 勤務時間や場所を問わず、様々なサービスが受けられている
- 若者や高齢者、障がい者など、全ての人が働きやすい
など
- 異なる産業分野が付加価値を創出している
- 新たなビジネスモデルを構築できている
- デジタル化の普及啓発で地域企業を支えられている
など
- 人に優しいサービスを提供している
- 誰もがデジタルによる恩恵を享受できている
- 安定的なシステムを導入し、信頼性を確保している
など